"ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類特別措置法・廃掃法構造基準適合焼却炉"

大型一括投入ｶﾞｽ化燃焼炉

一日分の廃棄物を一括投入し、焼却作業の省力化を可能にした画期的な炉です。

特長

■一括投入方式

投入口が大きく、ガス化室容積がたっぷり、形状を整えたりの前処理工程が不要です。
投入口の高さが地下式の有利性を活かして低くすることができ、ﾌｫｰｸや重機から直接投入できます。

■省力化

主作業は廃棄物の投入充填作業で、燃焼管理は自動制御を採用していますのでほとんど人手は不要です。
灰出し作業は１～２週間に１度でＯＫです。

■安定燃焼

ガス化燃焼方式の為、燃焼性が良く、ガス化空気量燃焼温度の管理が自動制御できるので安定した燃焼が可能です。

■ダイオキシン対応

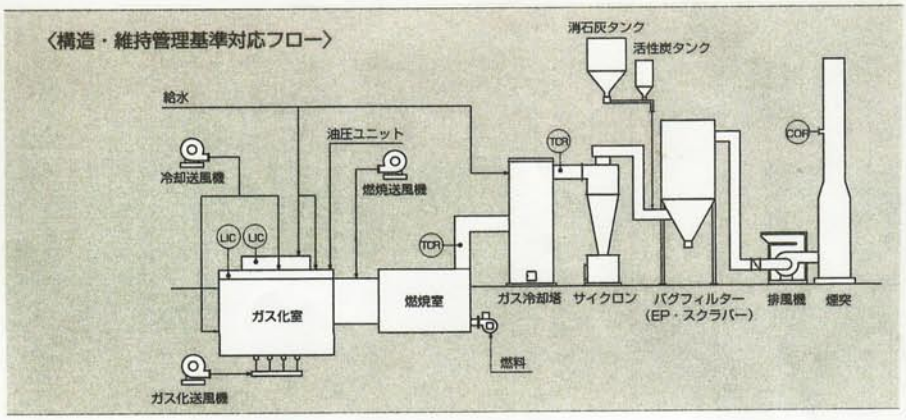
ガス冷却装置、消石灰・活性炭供給装置、ﾊﾞｸﾞﾌｨﾙﾀｰ等の高度な集塵機の設置により、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ規制値を満足可能です。

■灰の減量化

ガス化燃焼～熾き火燃焼へと充分な時間を掛けながら白灰化させますので、灰の量も少量です。

用途／処理対象物

建築廃材から工場雑芥まで



装置仕様

型　式				OUS-15K	OUS-20K
ｶﾞｽ化室容積(㎥)				15	20
投入口寸法(m)				2.6 × 1.8	3.0 × 2.2

※ OUS-K 型はｶﾞｽ化室本体構造が外板鋼板製＋内面耐火ｷｬｽﾀﾌﾞﾙ張りです。

型　式	OUS-30	OUS-50	OUS-80	OUS-100	OUS-200	OUS-300
ｶﾞｽ化室容積(㎥)	30	50	80	100	200	300
投入口寸法(m)	4.4 × 2.2	5.5 × 2.8	6.6 × 3.1	7.0 × 3.7	7.6 × 5	10.5 × 5

※この他にガス化室容積は、処理物の発熱量や水分、形状等により設計可能です。